

# なすしおぼろ

広報

11.5<sup>2007</sup>  
No.69



## 実りの秋です

猛暑だった夏が終わり、実りの秋がやって来ました。

市内の小学校では、児童たちが春に田植えをした田んぼで、稲刈りを行いました。10月4日(木)には、関谷小学校の3・5年生(写真)が青空の下、学校近くの田んぼに行き、稲刈りを体験。始めは慣れない鎌使いに苦戦をしましたが、みんな楽しそうに稲を刈り取り、稲架にかけていきました。収穫した米は、学校行事や給食でみんなで食べる予定です。

## CONTENTS[もくじ]

■18年度の市の決算	2 p
■学校だあ〜いすき	14 p
■タウトピックス	16 p
■くろしの情報	18 p
■マナビの伝言板	22 p
■イベント情報	26 p
■ちびっ子スナップ	28 p

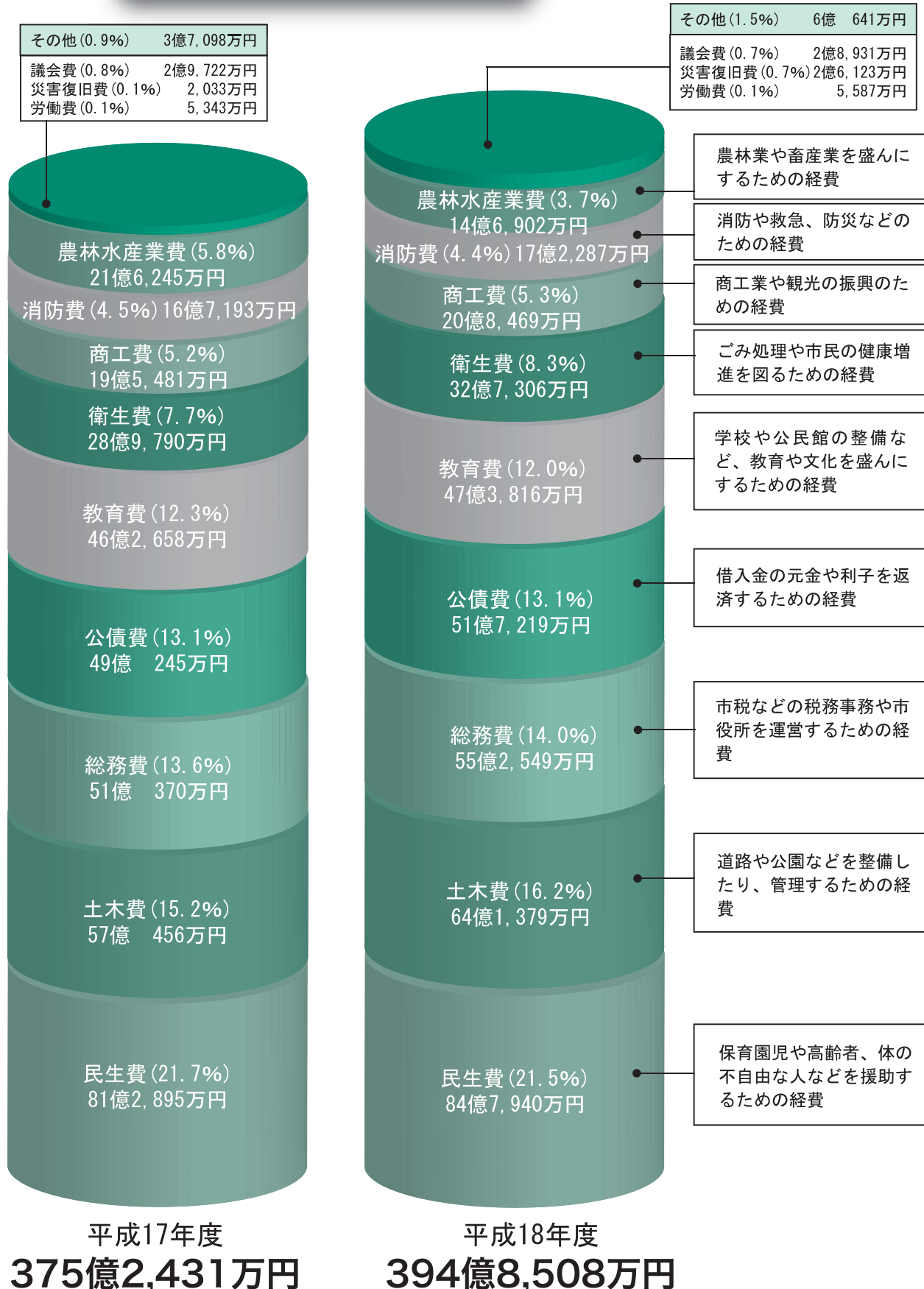
# 会計決算の状況

那須塩原市告示第189号  
財政状況の公表

◆問い合わせ 財政課 ☎0287(62)7118

## 歳出決算

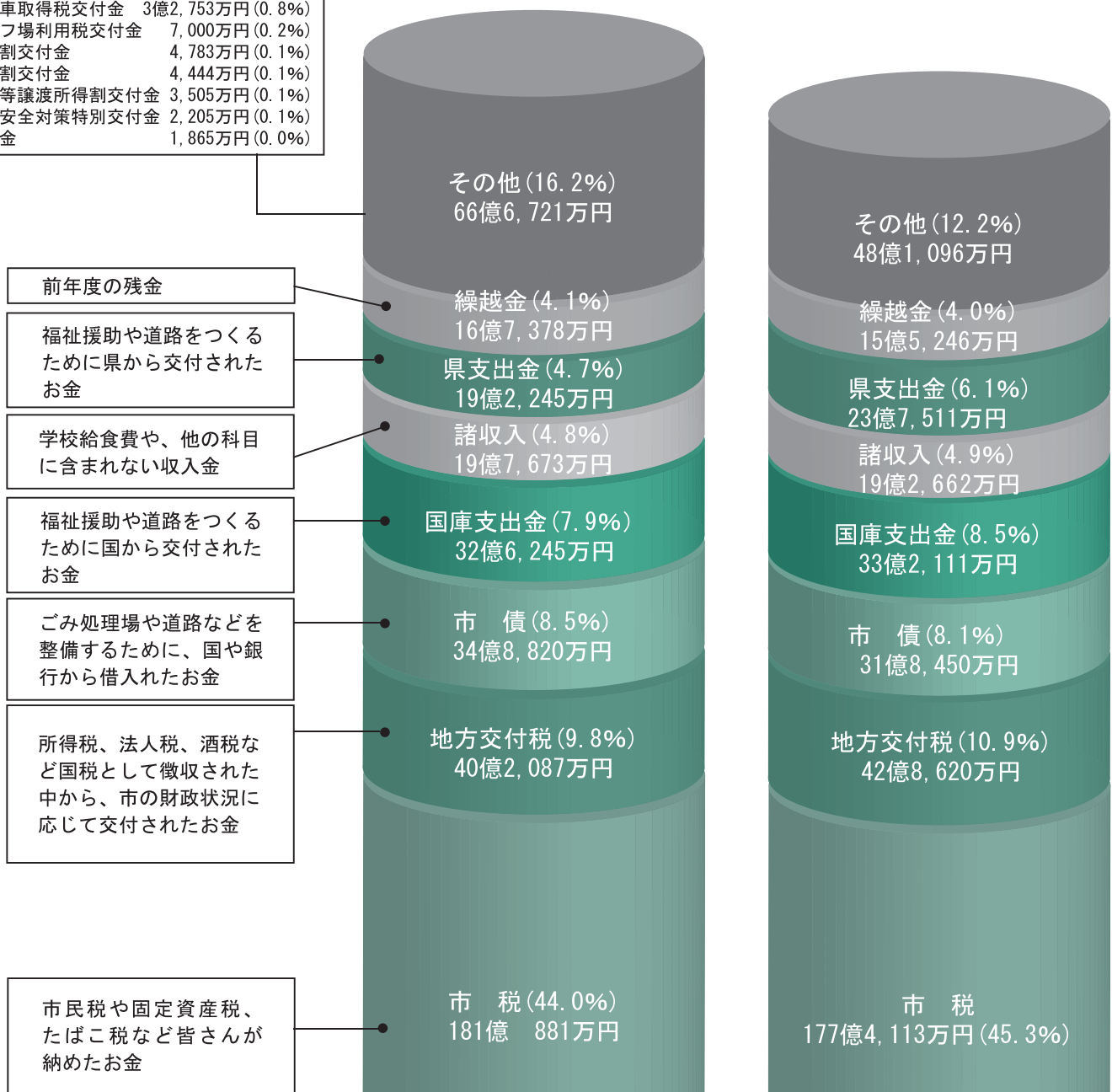
※( )内は構成比率



# 平成18年度 一般

## 歳入決算

繰入金	16億4,890万円 (4.0%)
地方譲与税	13億9,813万円 (3.4%)
地方消費税交付金	11億2,379万円 (2.7%)
使用料及び手数料	7億2,542万円 (1.8%)
分担金及び負担金	4億6,632万円 (1.1%)
地方特例交付金	3億9,581万円 (1.0%)
財産収入	3億4,329万円 (0.8%)
自動車取得税交付金	3億2,753万円 (0.8%)
ゴルフ場利用税交付金	7,000万円 (0.2%)
配当割交付金	4,783万円 (0.1%)
利子割交付金	4,444万円 (0.1%)
株式等譲渡所得割交付金	3,505万円 (0.1%)
交通安全対策特別交付金	2,205万円 (0.1%)
寄付金	1,865万円 (0.0%)

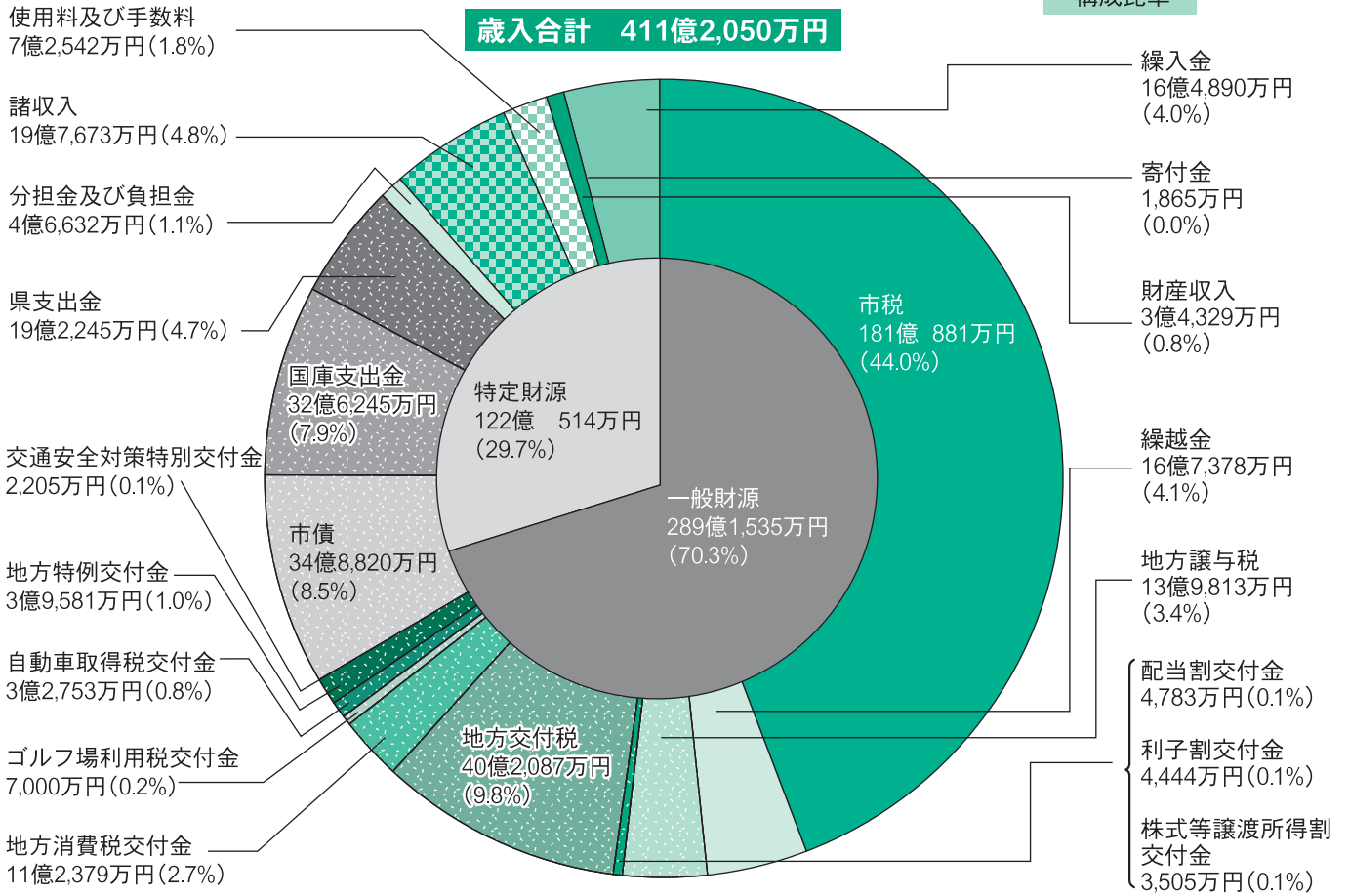


- 前年度の残金
- 福祉援助や道路をつくるために県から交付されたお金
- 学校給食費や、他の科目に含まれない収入金
- 福祉援助や道路をつくるために国から交付されたお金
- ごみ処理場や道路などを整備するために、国や銀行から借入れたお金
- 所得税、法人税、酒税など国税として徴収された中から、市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市民税や固定資産税、たばこ税など皆さんが納めたお金

平成18年度の  
市民一人当たりの決算額  
【歳入】358,392円  
【歳出】344,139円  
平成19年3月末住民基本台帳  
人口114,736人で計算

# 【一般会計の性質別歳入決算状況】

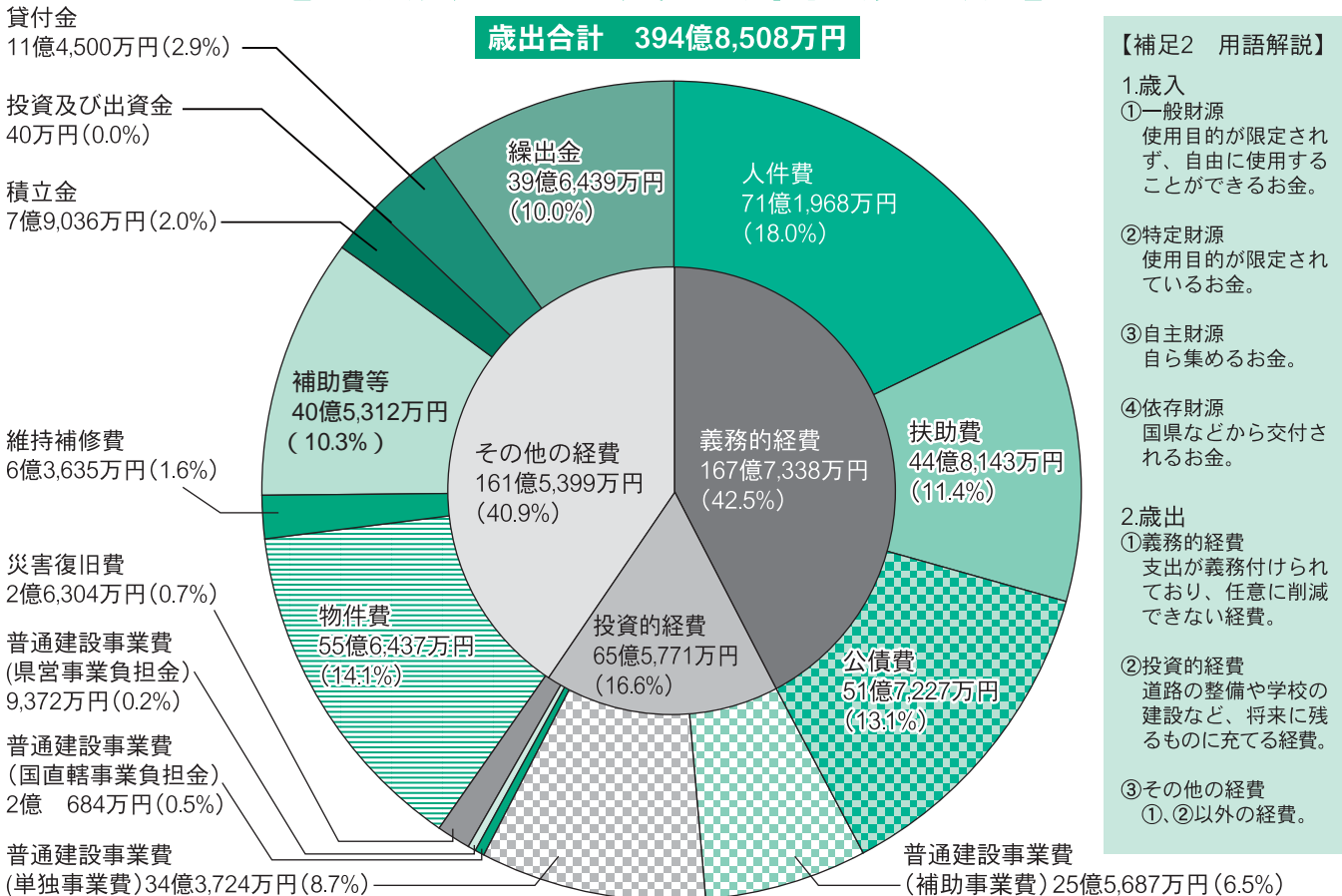
※( )内は  
構成比率



## 【補足1 自主財源と依存財源について】

依存財源は161億5,860万円(39.3%)で、グラフに網掛けしてある地方譲与税～県支出金です。それ以外が自主財源で、249億6,190万円(60.7%)です。

# 【一般会計の性質別歳出決算状況】



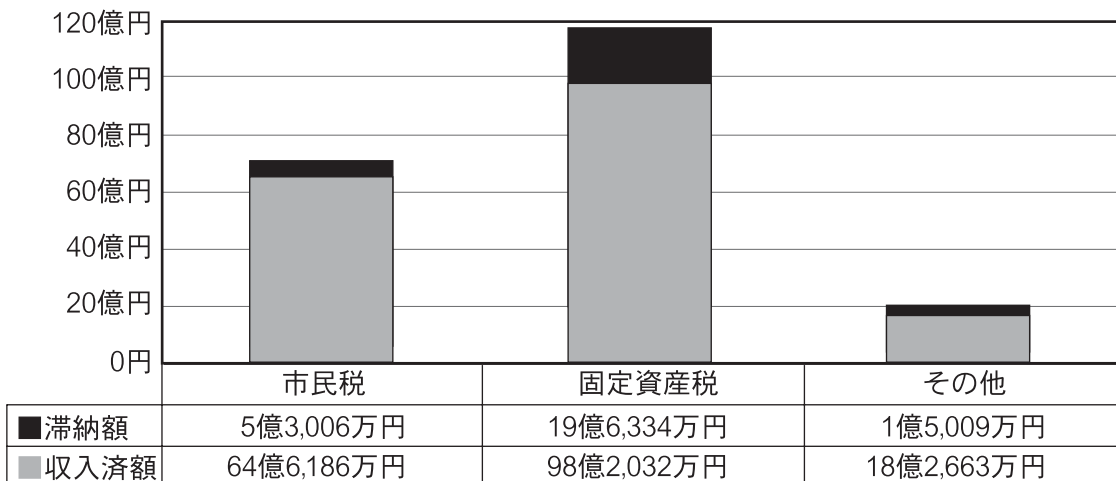
## 【補足2 用語解説】

- 歳入
  - ①一般財源  
使用目的が限定されず、自由に使用することができるお金。
  - ②特定財源  
使用目的が限定されているお金。
  - ③自主財源  
自ら集めるお金。
  - ④依存財源  
国県などから交付されるお金。
- 歳出
  - ①義務的経費  
支出が義務付けられており、任意に削減できない経費。
  - ②投資的経費  
道路の整備や学校の建設など、将来に残るものに充てる経費。
  - ③その他の経費  
①、②以外の経費。

# 平成18年度 特別会計の決算状況

会計名	区分	平成18年度 ①	平成17年度 ②	増減額 ①－②	伸び率 (①－②)÷②
国民健康保険特別会計	歳入	117億4,005万円	108億4,186万円	8億9,819万円	8.3%
	歳出	110億9,034万円	100億5,636万円	10億3,398万円	10.3%
老人保健特別会計	歳入	67億3,057万円	71億6,951万円	△4億3,894万円	△6.1%
	歳出	67億2,806万円	70億6,648万円	△3億3,842万円	△4.8%
介護保険特別会計	歳入	44億8,252万円	41億2,014万円	3億6,238万円	8.8%
	歳出	41億9,765万円	40億9,735万円	1億 30万円	2.4%
板室本村簡易水道事業特別会計	歳入	555万円	1,297万円	△742万円	△57.2%
	歳出	555万円	1,114万円	△559万円	△50.2%
板室温泉簡易水道事業特別会計	歳入	854万円	876万円	△22万円	△2.5%
	歳出	854万円	737万円	117万円	15.9%
西塩簡易水道事業特別会計	歳入	1億 122万円	6,499万円	3,623万円	55.7%
	歳出	1億 122万円	6,108万円	4,014万円	65.7%
下水道事業特別会計	歳入	39億3,099万円	39億7,424万円	△4,325万円	△1.1%
	歳出	38億7,691万円	39億 911万円	△3,220万円	△0.8%
農業集落排水事業特別会計	歳入	8,087万円	7,968万円	119万円	1.5%
	歳出	7,987万円	7,200万円	787万円	10.9%
土地区画整理事業特別会計	歳入	2億7,164万円	3億9,670万円	△1億2,506万円	△31.5%
	歳出	2億7,032万円	3億9,594万円	△1億2,562万円	△31.7%
公共用地先行取得事業特別会計	歳入	5,598万円	8,997万円	△3,399万円	△37.8%
	歳出	5,598万円	8,997万円	△3,399万円	△37.8%
温泉事業特別会計	歳入	7,015万円	7,472万円	△457万円	△6.1%
	歳出	6,604万円	6,358万円	246万円	3.9%
墓地事業特別会計	歳入	3,622万円	4,226万円	△604万円	△14.3%
	歳出	2,999万円	2,864万円	135万円	4.7%

## 平成18年度市税の収入済額・滞納額



平成18年度の市税は、総額で181億881万円納付されました。  
滞納額は、26億4,349万円になります。

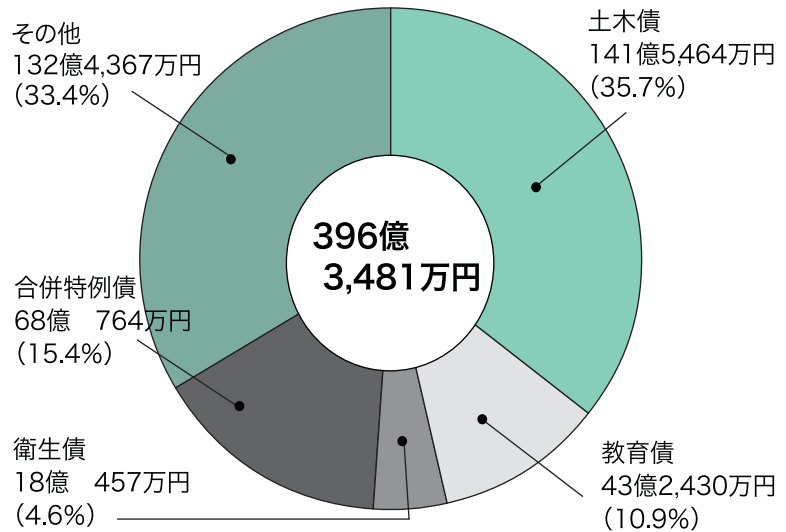
### 公営事業の経理状況 (平成18年決算の状況)

区分		決算額	
黒磯水道事業	収益的収支	収入	11億9,265万円
		支出	10億 572万円
	資本的収支	収入	2億8,047万円
		支出	5億3,371万円
西那須野水道事業	収益的収支	収入	10億3,280万円
		支出	9億 504万円
	資本的収支	収入	2億7,742万円
		支出	5億 354万円
塩原水道事業	収益的収支	収入	2億9,496万円
		支出	2億9,786万円
	資本的収支	収入	1億 99万円
		支出	1億8,886万円

### 財産の状況 (平成18年度末)

公有財産	土地	11,760,769㎡
	建物	395,618㎡
	山林など	6,356,221㎡
	有価証券	1,680万円
	出資による権利	10億4,435万円
	債 権	382万円
	基 金	110億4,242万円

### 市が借りているお金の残高 (平成18年度末 一般会計)



平成18年度に借入れた合併特例債は、19億2,990万円で、主な借入目的は次のとおりです。

- ・道路整備事業……………5億9,650万円
- ・西那須野地区まちづくり交付金事業……………4億1,500万円
- ・街路整備事業……………2億4,830万円
- ・塩原温泉湯っ歩の里整備事業……………2億3,750万円
- ・第2期ごみ処理施設整備事業……………1億8,030万円

#### 【補足3 平成18年度の元利償還金について】

平成18年度に返済したお金は、51億7,219万円です。  
(元金43億6,001万円、利子8億1,218万円)  
元利償還金のうち、26億5,048万円が地方交付税に算入されています。

### 平成18年度の主な建設事業(一般会計)

	決算額	主な事業
総務費	7億8,445万円	○塩原支所庁舎新築移転(6億7,040万円) ○西那須野支所庁舎駐車場及び広場拡張ほか(2,157万円) ○本庁(黒磯)東庁舎吹付けアスベスト除去ほか(1,251万円)
民生費	2億 445万円	○認可保育園建設事業費補助(1億2,920万円) ○地域介護・福祉空間整備補助(5,500万円) ○西那須野地区高齢者能力活用センター整備(1,290万円)
衛生費	1億7,411万円	○浄化槽設置整備事業補助(1億2,152万円) ○大田原赤十字病院救急救命センター整備負担金(2,764万円) ○黒磯保健センターエアコン取り付け工事(1,382万円)
農林水産業費	6億8,835万円	○畜産基盤再編総合整備事業費補助(2億4,567万円) ○国営那須野原総合農地開発事業負担金(2億684万円) ○堆肥センター整備負担金ほか(4,352万円)
商工費	3億5,514万円	○塩原温泉湯っ歩の里整備(2億5,000万円) ○西那須野地区中心市街地街路灯設置補助(6,000万円)
土木費	31億8,800万円	○西那須野地区まちづくり交付金事業(8億587万円) ○那須塩原駅北土地区画整理事業(4億7,505万円) ○(仮称)黒磯インター整備関連事業(2億5,443万円)
消防費	8,381万円	○消防自動車購入(3,870万円) ○防火水槽整備(2,268万円) ○上塩原消防詰所整備(1,543万円)
教育費	8億1,636万円	○三島体育センターテニスコート用地購入ほか(2億8,753万円) ○体験学習施設整備(2億4,249万円) ○東那須野公民館外構工事ほか(3,902万円)
計	62億9,467万円	

# 那須塩原市のバランスシート(普通会計)

借 方		
項目	平成18年度末	1年間での増減
<b>有形固定資産 (うち土地)</b>	<b>1,353億1,730万円 (497億7,060万円)</b>	<b>△3億8,136万円 (+14億6,367万円)</b>
1 総務費	93億2,191万円	+ 4億9,076万円
2 民生費	49億6,767万円	△ 2億3,607万円
3 衛生費	72億 999万円	△ 6億1,185万円
4 労働費	1,899万円	△ 90万円
5 農林水産業費	75億4,557万円	△ 5億6,745万円
6 商工費	40億1,824万円	+ 4,607万円
7 土木費	644億 712万円	+ 7億4,777万円
8 消防費	9億6,148万円	△ 6,772万円
9 教育費	368億1,855万円	△ 1億8,125万円
10 その他	4,778万円	△ 72万円
<b>投資等</b>	<b>91億 764万円</b>	<b>△10億9,936万円</b>
1 投資及び 出資金	10億6,115万円	△ 65万円
2 貸付金	387万円	△ 494万円
3 基金	62億2,138万円	△13億1,287万円
① 特定目的 基金	57億3,434万円	△13億1,323万円
② 土地開発 基金	3億 27万円	+ 20万円
③ 定額運用 基金	1億8,676万円	+ 15万円
4 退職手当 組合積立金	18億2,124万円	+ 2億1,910万円
<b>流動資産</b>	<b>72億7,565万円</b>	<b>+ 6億1,241万円</b>
1 現金・預金	45億8,274万円	+ 6億5,480万円
① 財政調整 基金	13億4,803万円	+ 19万円
② 減債基金	15億9,305万円	+ 7億 35万円
③ 歳計現金	16億4,166万円	△ 4,574万円
2 未収金	26億9,290万円	△ 4,240万円
① 地方税	26億4,349万円	△ 4,993万円
② その他	4,941万円	+ 753万円
<b>資産合計</b>	<b>1,517億 58万円</b>	<b>△ 8億6,832万円</b>

貸 方		
項目	平成18年度末	1年間での増減
<b>固定負債</b>	<b>420億3,795万円</b>	<b>△ 2億 875万円</b>
1 市債	350億7,831万円	△12億8,716万円
2 債務負担行為	—	—
① 物件の 購入等	—	—
② 債務保証 又は 損失補償	—	—
3 退職給与 引当金	69億5,965万円	+10億7,842万円
<b>流動負債</b>	<b>47億7,187万円</b>	<b>+ 3億3,642万円</b>
1 翌年度償還 予定額	47億7,187万円	+ 3億3,642万円
2 翌年度繰上 充用金	—	—
<b>負債合計</b>	<b>468億 982万円</b>	<b>+ 1億2,767万円</b>
<b>国庫支出金</b>	<b>142億3,699万円</b>	<b>+ 5億1,680万円</b>
<b>県支出金</b>	<b>86億5,085万円</b>	<b>△ 2億3,776万円</b>
<b>一般財源等 (市税など)</b>	<b>820億 292万円</b>	<b>△12億7,503万円</b>
<b>正味資産合計</b>	<b>1,048億9,076万円</b>	<b>△ 9億9,599万円</b>
<b>負債・正味資産合計</b>	<b>1,517億 58万円</b>	<b>△ 8億6,832万円</b>

## 【補足4 バランスシートとは？】

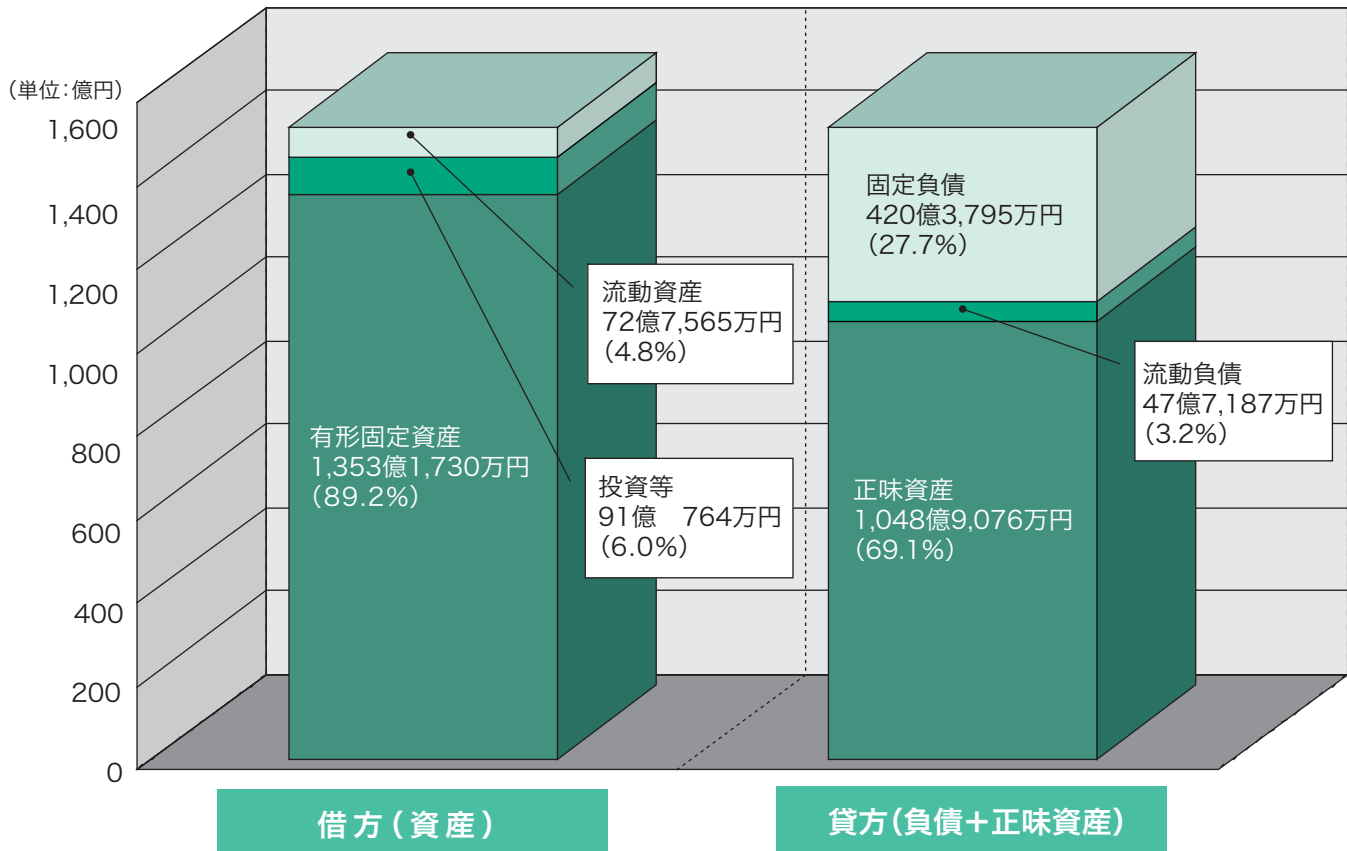
那須塩原市が築いてきた資産を左側に、その資産形成の内訳となった負債と正味資産を右側に並べて表示したものです。よって、左の表と右の表の合計は一致し、バランスが取れている状態になります。

バランスシートにより、財産(資産)がどのくらいあり、借入金の返済など(負債)がいくらあり、財産を築くために使われた税金や国・県支出金(正味資産)を知ることができます。

## 【補足5 普通会計とは？】

総務省形式の決算資料(地方財政状況調査)作成のガイドラインに基づくと、那須塩原市の場合の普通会計は、一般会計と公共用地先行取得事業特別会計と墓地事業特別会計の3つの会計を併せたものになります。

# 【平成18年度末バランスシートのグラフ】



## 【解説】

那須塩原市が持っている資産の合計は1,517億58万円で、内訳は土地や建物、道路などの「有形固定資産」が1,353億1,730万円、出資金や基金などの「投資等」が91億764万円、財政調整基金や減債基金、現金、市の債権(市税の未収金)などの「流動資産」が72億7,565万円となっています。

資産のほとんどは、「有形固定資産」で占められており、その資産形成における資金調達については、これまでの世代による負担である「正味資産」によるものが69.1%、将来の世代の負担による「負債」によるものが30.9%となっています。

## 【資産の状況】

### 1. 有形固定資産

前年度と比較して3億8,136万円減少しました。これは、平成18年度に新たに資産を形成するために行った支出額よりも、これまでに形成してきた資産の減価償却費の金額が上回ったため、市の行う建設事業を抑制したことを示しています。具体的には、有形固定資産の形成に59億6,328万円支出したのに対し、減価償却した有形固定資産は63億4,464万円となったことによるものです。

なお、平成18年度の主な資産形成は次のとおりです。

- ・総務費 塩原支所庁舎新築移転 6億7,040万円
- ・商工費 塩原温泉湯っ歩の里整備 2億5,000万円
- ・土木費 那須塩原駅北土地地区画整理 4億7,505万円  
(仮称)黒磯インター整備関連 2億5,443万円
- ・教育費 三島体育センターテニスコート用地購入ほか 2億8,753万円  
体験学習施設整備 2億4,249万円

### 2. 投資等

総合排水対策基金や庁舎増改築基金などを取り崩して事業に充てたため、基金が13億1,287万円減少しました。退職手当組合積立金は2億1,910万円増加しました。よって、投資等全体で10億9,936万円減少しました。

### 3. 流動資産

財政調整基金と減債基金に7億円を積み立てたことにより、流動資産全体で6億1,241万円増加となりました。

## 【負債の状況】

前年度と比較して1億2,767万円増加しました。負債のうち翌々年度以降に返済が必要な借入金である「固定負債(市債)」は350億7,831万円で、前年度と比較して12億8,716万円減少しています。これは、平成18年度の建設事業が抑制されたことから、その財源である市債(借入金)の発行額も抑制されたためです。

また「流動負債」は前年度から3億3,642万円増加し、47億7,187万円となりました。これは、平成17年度に借入した合併特例債15億1,730万円の元金返済の影響によるものです。

## 【正味資産の状況】

「正味資産」は、これまでの資産の形成に調達された資金のうち、将来の負担が必要ないものを示しており、前年度と比較して9億9,599万円減少しました。

その内訳は、国と県からの補助金が2億7,904万円増加しましたが、一般財源等(市税など)が12億7,503万円減少しました。

正味資産が減少する理由は、有形固定資産が減価償却して減少すると、それに連動して正味資産も減少するためです。



# 平成19年度 上半期の予算執行状況 (4月1日～9月30日)

## 一般会計の執行状況

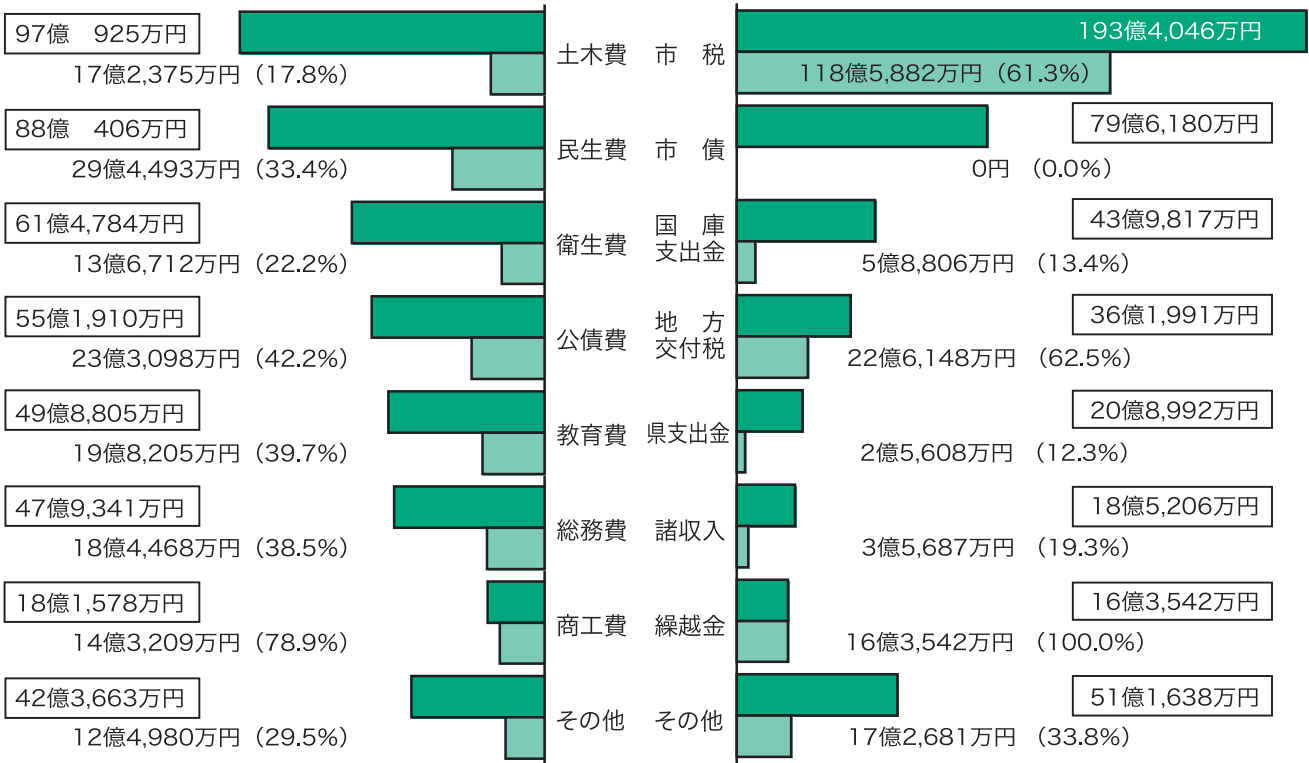
■ 予算額  
■ 収入・支出済額

### 歳出

予算現額 460億1,412万円  
支出済額 148億7,540万円  
執行率 32.3%

予算現額 460億1,412万円  
収入済額 186億8,354万円  
執行率 40.6%

### 歳入



## 特別会計の執行状況

会計名	予算額 A	収入済額 支出済額 B	率% B/A	会計名	予算額 A	収入済額 支出済額 B	率% B/A		
国民健康保険	歳入	131億5,126万円	42億9,494万円	32.7	土地区画整理事業	歳入	1億8,180万円	2,619万円	14.4
	歳出	131億5,126万円	50億2,493万円	38.2		歳出	1億8,180万円	6,095万円	33.5
老人保健	歳入	74億852万円	26億9,909万円	36.4	公共用地先行取得事業	歳入	2,357万円	0円	0.0
	歳出	74億852万円	27億5,777万円	37.2		歳出	2,357万円	1,181万円	50.1
介護保険	歳入	50億8,184万円	21億9,588万円	43.2	温泉事業	歳入	6,027万円	2,839万円	47.1
	歳出	50億8,184万円	18億2,373万円	35.9		歳出	6,027万円	1,138万円	18.9
下水道事業	歳入	34億7,152万円	4億3,594万円	12.6	墓地事業	歳入	8,915万円	784万円	8.8
	歳出	34億7,152万円	11億7,519万円	33.9		歳出	8,915万円	3,594万円	40.3
農業集落排水事業	歳入	8,957万円	878万円	9.8	簡易水道事業	歳入	2億3,298万円	1,376万円	5.9
	歳出	8,957万円	3,589万円	40.1		歳出	2億3,298万円	3,608万円	15.5

## 公営企業会計の執行状況

区分	予算額 A	収入済額 支出済額 B	率% B/A		
水道事業	収益的収支	収入	25億114万円	12億6,270万円	50.5
		支出	23億4,000万円	6億8,064万円	29.1
資本的収支	収入	14億7,627万円	5,184万円	3.5	
	支出	25億3,830万円	3億5,270万円	13.9	

※那須塩原市には3つの「下水道」と7つの「簡易水道」、併せて10の水道事業があります。これらの事業は、会計や組織は一本化しました。しかし経営は別々のため、効率化のために事業の統合が必要になっています。

### 【補足6 簡易水道事業特別会計について】

会計処理の一元化により、平成19年度から次の3事業は、那須塩原市簡易水道事業特別会計となりました。

- ・板室本村簡易水道事業特別会計
- ・板室温泉簡易水道事業特別会計
- ・西塩簡易水道事業特別会計

### 【補足7 公営企業特別会計について】

会計処理の一元化により、平成19年度から次の事業は、那須塩原市水道事業会計となりました。

- ・黒磯水道事業(黒磯下水道)
- ・西那須野水道事業(西那須野下水道)
- ・塩原水道事業(下水道……塩原、簡易水道……新湯、関谷、大貫金沢、宇都野)

# 那須塩原市水道事業基本計画【原案】 (地域水道ビジョン)

市民意見募集  
パブリックコメント

## 皆さんの意見を聞かせてください

要旨は次のとおりです。

### 計画の位置付け(目的)

安心安全な水の安定供給と水道事業の健全経営を維持するための指針となるものです。

### 計画の期間

平成19年度から平成28年度までの10年間とします。

### 施設の現状と問題点

安心安全な水の供給を続けていくには施設の整備が重要ですが、次のような問題があります。

- 市内全域に施設が点在しており、維持管理上の効率が悪くなっています。
- 漏水が多く発生している地域があります。
- 石綿セメント管が市内全域で約240km残存しています。
- 水源水質の汚染が懸念されています。
- 危機管理対策が不十分です。
- 常時監視することができない施設が多数あります。
- 老朽化した铸铁管や塩化ビニル管があります。

### 経営の現状と問題点

水道事業は独立採算での経営ですが、次のような問題があります。

○市内の水道料金格差が大きく、不公平感が生じています。

○今後の投資は、将来の水量増加が見込めない中で進めることになるため、投資財源のあり方や料金水準、サービス水準などを検討した上で財政計画を策定し、計画的な設備投資をする必要があります。

○累積欠損金が生じている事業があります。

### 水需要の予測

#### 【人口の見通し】

将来の水需要を予測するに当たり、計画期間中の給水人口の見通しを行いました。給水人口は、給水区域内の普及率を上昇させることを目標とし、平成17年度の実績11万185人に対して、平成28年度には11万8975人となり、8800人増加する見込みです。

#### 【水量等の見通し】

給水人口の見通しと過去の

給水量を基に、将来における給水量の予測を行いました。

1日平均給水量は、平成17年度実績5万1921m<sup>3</sup>/日に対して、平成28年度には、4万4401m<sup>3</sup>/日となり、7520m<sup>3</sup>/日減少する見込みです。

### 経営の基本方針

現状と問題点、将来の水需要の推計を踏まえた上で、水道使用者に安心安全な水の供給を続けるため、次のとおり経営の基本方針を定めます。

#### ◆安定した配・給水の確保

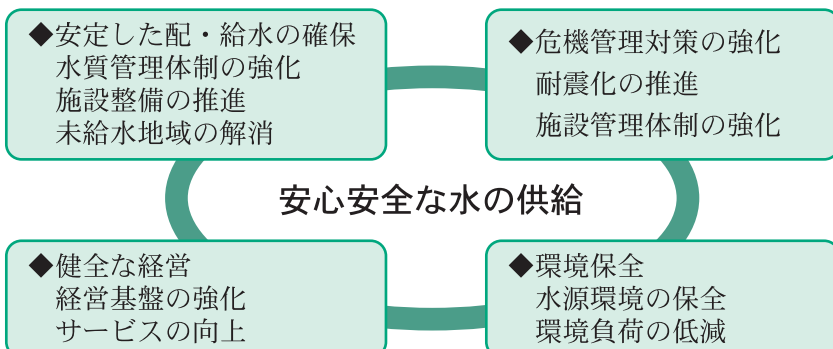
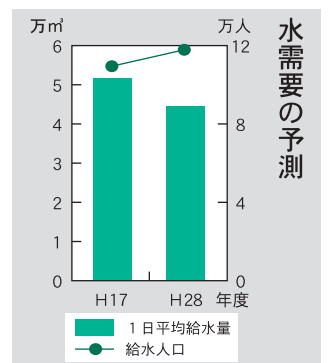
安定した配・給水を確保するため施設の整備を行います。

#### ◆危機管理対策の強化

事故の未然防止や災害などの緊急時に速やかに対応するために、危機管理対策を強化していきます。

#### ◆健全な経営

安心安全な水の供給を続けていくためには、施設の整備とともにそれを支える経営が健全でなければなりません。



そのために、企業としての財政基盤を強化するとともにお客様サービスの向上を図ります。



① 経営基盤の強化  
 ① 事業別財政収支の見直し  
 各事業が必要な施設整備をそれぞれで行った場合には、すべての事業で給水原価が上昇し、ほとんどの事業で経営は困難となります。

② 事業の再構築  
 各事業は施設面、経営面共に多くの課題を抱えています。それらをおのおので解決することは効率的ではなく、経営も困難となるため、事業を再構築する必要があります。

将来にわたり持続可能な水道を効率的に経営していくために、すべての事業を一つに統合していく方向とします。

③ 全事業を一つに統合した場合の財政収支の見直し  
 現在の料金体系のまま全事業を統合した場合の財政収支の見直しは次のとおりです。

※利益は減少を続け、平成25年度以降はマイナスとなるため、経営は難しくなります。

※施設整備の資金となる補てん財源残高は平成25年度に最も少なくなり、以降、緩やかに上昇します。

※企業債残高は、平成19年度末の約87億円から平成28年度末の約117億円へと、約30億円増加します。

※平成22年度には給水原価が供給単価を上回り、料金改定が必要となります。

④ 料金改定

水道料金は、独立採算の原則から、総括原価（原価の総額）を回収できるように

設定します。

・計画期間中の総括原価は約286億円となる見込みで、現行料金体系からの収益見込み額約245億円と比較すると約41億円の不足となります。料金の改定が必要となります。

※料金改定の方向

地方公営企業法は、1事業における会計は一つであることを原則としており、水道使用者間の負担公平化の観点からも、次のとおりの方向性を見出すことができます。

※全事業統合後の料金体系・水準は一つにするのが望まれる。

※経済情勢を勘案する必要がある。

※段階的な料金改定が望まれる。

■サービスの向上

窓口手続きの簡素化など、さらなる利便性の向上を図っていきます。

事業化計画〔安定した配・給水の確保〕

具体的施策	事業名	平成19年度～平成23年度					平成24年度～平成28年度					事業費(百万円)	
施設整備の推進	老朽管更新事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY28]										9,121	
	配水管整備事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY28]										1,854	
	老朽浄水施設整備事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY23]	[Bar chart showing investment from FY24 to FY28]										532
	排水施設整備事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY23]					[Bar chart showing investment from FY24 to FY28]					662	
未給水地域の解消	拡張事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY28]										1,336	
計		1,558	1,513	1,734	1,579	1,355	1,271	1,602	1,151	857	885	13,505	

事業化計画〔危機管理対策の強化〕

具体的施策	事業名	平成19年度～平成23年度					平成24年度～平成28年度					事業費(百万円)
耐震化の推進	地震対策事業						[Bar chart showing investment from FY24 to FY28]					73
施設管理体制の強化	緊急時対策事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY28]										794
	危機回避事業	[Bar chart showing investment from FY19 to FY23]					[Bar chart showing investment from FY24 to FY28]					330
計		317	68	490	170	152						1,197

## ◆環境保全

### ■水源環境の保全

水源環境保全の推進と、水源上流域の重要性についての啓蒙を図ります。

### ■環境負荷の低減

省エネルギー型設備の導入や施設の効率的な運用により、環境負荷の低減を進めます。

## 事業の評価

以下のような指標の管理をしていくことで、目標管理をしていきます。

- ・石綿セメント管の残延長
  - ・普及率（対給水区域内人口）の向上
  - ・有収率の向上
- そのほかにも、業務指標を活用して、経営状況の適切な把握、分析に努めることともに、経営状況の改善に向けて努力していきます。
- また、経営環境の変化に対応し、常に健全な水道事業を経営するために、計画の評価と見直しを定期的に行っていきます。

### 水道事業基本計画【原案】

## 意見提出方法



### ■意見を提出できる人

市民および本案件に利害関係を有する人

※本案件に利害関係を有する人は、利害関係について簡単に記述してください。

### ■募集期間

11月5日(月)～12月4日(火)

### ■閲覧できる時間・場所

午前8時30分～午後5時30分

- ・水道管理課(西那須野庁舎 木曜は午後7時まで)
  - ・水道部黒磯事業所(本庁舎 金曜は午後7時まで)
  - ・水道部塩原事業所(塩原庁舎・水曜は午後7時まで)
  - ・市ホームページ
- <http://www.city.nasushio-barai.jp>

### ■提出方法

閲覧場所に備え付けの意見書用紙に必要な事項を記入し、次のいずれかの方法で提出してください。(意見書用紙は、市のホームページからもダウンロードできます)

### ○直接提出

水道管理課(西那須野庁舎)

水道部黒磯事業所(本庁舎)  
水道部塩原事業所(塩原庁舎)

○郵送 〒329-1279  
あたご町2-13

那須塩原市水道部水道管理課

### ○ファックス

0287(36)2298

### ○電子メール

suidokanni@city.nasushio-barai.jp

※意見書の内容を確認する場合がありますので、必ず住所、氏名、連絡先を記載してください。記載がない場合は回答を公表できないこともあります。

※個人情報公表しません。

また、目的以外には使用しません。

※意見書などの書面は返却しません。

### ■意見の公表

意見は、内容を整理した上で、市の考えとともに担当課窓口や広報誌、ホームページで公表します。ただし、個々の意見に直接回答はしませんので、あらかじめ承願います。

### ■問い合わせ

水道管理課

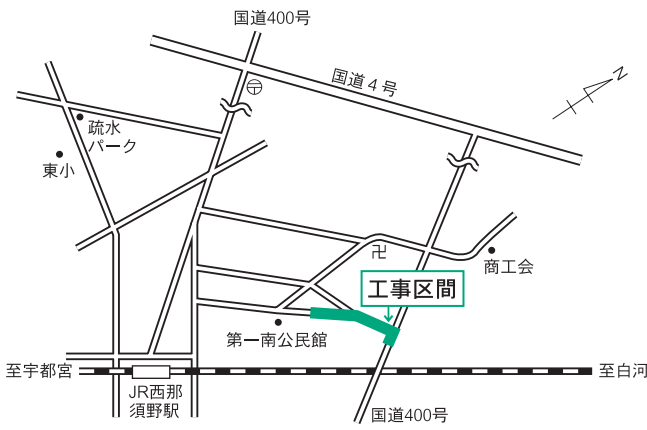
☎0287(37)5145

## 交通規制に協力をお願いします(西那須野地区)

### 市道N幹Ⅱ-9号線で交通規制

雨水排水対策のため、水路敷設工事を実施します。  
**工事期間** 本年11月から来年3月中ごろまで  
**工事場所** 東町地内(図のとおり)  
**交通規制** 片側交互通行および一時車両通行止め  
**問い合わせ**

☎ 0287(37)5111



### 市道N幹Ⅰ-7号線(通称:大山通り)で交通規制

汚水管渠整備のため、下水道工事を実施します。  
**工事期間** 本年11月から来年3月ごろまで  
**工事場所** 一区町地内(図のとおり)  
**交通規制** 片側交互通行および一時車両通行止め  
**問い合わせ**

☎ 0287(37)5110



# ご利用ください ゆ〜バス



10月1日から運行開始したゆ〜バスの主な運行ダイヤ、乗り継ぎなどを紹介します。ぜひ活用してください。

- 運賃 1乗車 200円 (小・中学生：半額、幼児：無料)
- 1日券 大人 400円 (小・中学生：半額)
- ※定期券、障害者割引あり。
- 問い合わせ 生活課 ☎0287(62)7127

## ゆ〜バス便利な活用法 — お出かけ・お買い物に

### ■西那須野地区⇄黒磯地区間

【黒磯・西那須野線】	西那須野駅		黒磯駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		10:30	西那須野庁舎、西原町、三島、国際医療福祉大学病院前、那須塩原駅、黒磯文化会館、市役所、菅間病院前、いきいきふれあいセンター前	10:13 11:30
	到着	11:30 13:00		発車
			10:30 12:00	

### ■箒根地区⇄西那須野地区間

【宇都野線】	アグリパル塩原		西那須野駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		10:30	ハロープラザ、金沢小学校入口、大貫小学校入口、下大貫、三区町、西公民館前、西原町、西那須野庁舎	11:17
	到着	15:17		発車
			14:30	

【下大貫線】	アグリパル塩原		西那須野駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		9:30	ハロープラザ、高阿津、大貫小学校入口、下大貫、三区町、西公民館前、西原町、西那須野庁舎	10:07
	到着	16:07		発車
			15:30	

【接骨木線】	アグリパル塩原		西那須野駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		7:55	折戸公民館前、上横林、横林小学校前、接骨木公民館前、国際医療福祉大学病院前、三島、五軒町	8:32
	到着	14:07		発車
			13:30	

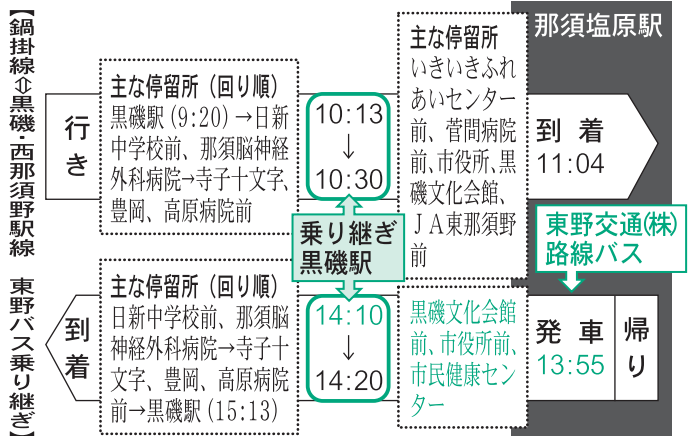
### ■高林地区⇄黒磯・東那須野地区間

【湯宮線⇄黒磯・西那須野線乗り継ぎ】	湯宮		黒磯駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		9:00	高林十文字、東那須野中学校前、方京1丁目	9:31 9:40
	到着	15:06		発車
			14:00	

## 主な運行ダイヤ・乗り継ぎ

一例です。詳しくは時刻表を確認してください。(時刻は平日のダイヤです) 土・日曜、祝日は変更となる場合がありますので注意してください。

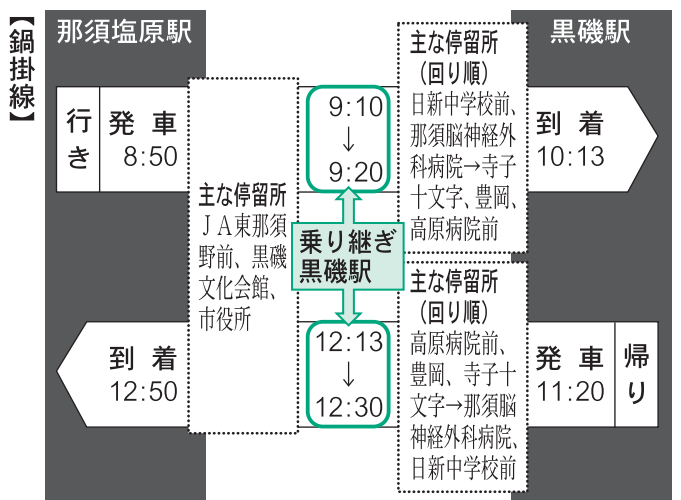
### ■鍋掛地区⇄黒磯・東那須野地区間



### ■東那須野地区から

【黒磯・西那須野線】	那須塩原駅		西那須野駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		9:34	大原間小学校前、上中野、国際医療福祉大学病院前、三島、西原町、西那須野庁舎	10:00
	到着	12:57		発車
			12:30	

【黒磯・西那須野線】	那須塩原駅		黒磯駅	
	行き	発車	主な停留所	到着
		9:40	J A 東那須野前、黒磯文化会館、市役所、菅間病院前、いきいきふれあいセンター前	10:13
	到着	12:34		発車
			12:00	





## 大切な森林を未来へ引き継ぐために 平成20年度から「とちぎの元気な 森づくり県民税」が始まります

### 納税義務者

県民税均等割の納税義務者と同じになります。

- 個人：県内に住所・家屋敷などがある人
- 法人：県内に事務所などがある法人など

### 税 率

- 個人：年額700円  
(住民税均等割4,000円に上乗せされ、平成20年度から4,700円になります)

	現 行	平成20年度から
均等割額	4,000円	4,700円
(内訳)市民税	3,000円	3,000円
県民税	1,000円	1,700円

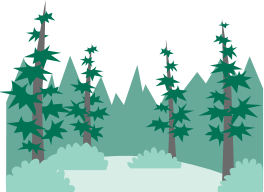
- 法人：法人県民税均等割額の7% (法人県民税の均等割額に7%が上乗せされます)

### 課税期間

平成20年度から29年度までの10年間です。

### 問い合わせ

- 税の仕組みに関すること  
県税務課 ☎028(623)2101
- 税の使い道に関すること  
県環境森林政策課 ☎028(623)3294
- 県ホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>



## 事業者の皆さんへ

## 給与所得者の個人住民税は、給与 支払者（事業者）が徴収すること になっています

給与所得者の個人住民税は、給与支払者（事業者）が給与の支払いをするときに毎月徴収して、市に納めることになっています。これを住民税の特別徴収といいます（地方税法321条の3）。

従業員の所得税は給与から源泉徴収しているけど個人住民税は徴収していない、ということはありませんか。

このような事業者は、原則として住民税の特別徴収を行うことになります。

詳しくは、課税課市民税係に相談してください。

相談先・問い合わせ

課税課

☎0287(62)7121



また、地域住民の学校への厚き思いを常に受けています。4月には隣接農家の水田を借りて田植え体験。6月のふれあい活動。地域のお年寄りの方々に昔の遊び活動の相談を持ちかけると、すぐに試作品や材料を準備し協力してくれます。9月の運動会。紅白に分かれて児童の入場行進に続き保護者も堂々の入場行進をします。10月には、稲刈りや脱穀。収穫した米でもちをつき、親子マラソン大会とあわせて収穫を祝う「オータムフェスタ」があります。12月には、多くの方々を招き、学習の成果を披露する学習発表会。



田植え体験

保護者も合唱を披露します。これらの行事に保護者や地域の方々の大きな協力を得ています。登下校には、たくさんのボランティアの方々のオレンジ



昔の遊び「水でっぽう」を作る

色のジャンパーに見守られ、子どもたちは、交通量の多い道路を、山道や田んぼのあぜ道を、上級生の班長を先頭にきちんと一列に並んで今日も元気に登下校しています。

す。学校近くの伊藤さんの田んぼをお借りして、春にみんなどろだらけになりながら田植えをします。秋には稲刈りと脱穀をします。そして、オータムフェスタのときにそのお米でもちつきをして食べます。あんこやきな粉大根おろしなど保護者の方々が準備してくたさり、とてもおいしくいただきます。

横林小は、児童数六十三名という小規模校ですが、地域の皆様に支えられみんな明るく元気に過ごしています。